

令和3年(2021年)8月24日
枚方市提供

報道機関 各位

緊急事態宣言の延長に伴う
小中学校のオンライン併用授業(ハイブリッド型授業)の実施について

このことについて、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 対応について

新型コロナウイルス感染拡大における緊急事態宣言の延長を受けて、枚方市立小中学校の始業式(8月25日)を迎えるにあたり、子どもたちの教室での密集を避けるため、教室でも家庭でもタブレット端末を活用し、同様の学び(ハイブリッド型授業)を実施する。

2. 概要

- ① 9月12日まではすべての授業のオンライン配信を実施し、教室でも家庭でもタブレット端末を活用したハイブリッド型授業を行う。
- ② 登校せず、家庭からタブレット端末を使って学校とつながることも可とし、その場合においても、欠席とはならない(出席停止の扱い)。

3. 期間

8月25日(水)～9月12日(日)
但し、緊急事態宣言が9月12日以降延長された場合は、この限りではない。

4. 資料(別添)

- ① 【学校送付】(鑑) ICT機器を活用した新型コロナウイルス感染症拡大への対応について
- ② 【学校送付】 ICT機器を活用した新たな学び～緊急対応版～(学校用)
- ③ 【学校送付】 ICT機器を活用した新たな学び～緊急対応版～(1日の流れ例)
- ④ 【保護者配付】 新型コロナウイルス感染症拡大状況下における「子どもたちの学びを止めない」ための取組について
- ⑤ 【保護者配付】 ICT機器を活用した新たな学び～緊急対応版～

(連絡先) 学校教育部 学校教育室 内線 1015-8051

令和3年8月24日

保護者の皆様へ

枚方市教育委員会

新型コロナウイルス感染症拡大状況下における「子どもたちの
学びを止めない」ための取組について

平素は本市の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の現状に鑑み、本市におきましては、日々の新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組を引き続き進めますとともに、子どもたちの教室での密集を避けるため、教室でも家庭でもタブレット端末を活用し、同様の学び（ハイブリッド型授業）を実施いたします。

登校せず、家庭からタブレット端末を使って学校とつながることも可とし、その場合においても、欠席とはなりません。（出席停止の扱いとなります。）

保護者の皆さまにおかれましては、引き続き感染拡大防止にご協力いただきますとともに、家庭での学習を希望される場合は、オンライン授業へのご理解・ご協力をお願いします。

記

1. 登校せず家庭で授業を受ける児童・生徒への取組

9月12日まではすべての授業のオンライン配信を行います。

別紙をご覧ください。

2. ご理解をお願いしたいこと

新型コロナウイルス感染症拡大の現状に鑑み、登校している児童・生徒にも、登校せず家庭にてオンラインで授業を受ける児童・生徒にも、「安全・安心を提供すること」と「学びを止めないこと」を両輪に、市教育委員会と学校が一丸となり、取り組もうとしているところです。これまでの授業形態とは異なることによる、学習環境面等の不備・不足等があるかもしれませんが、ご理解・ご了承をお願いします。本件についての、ご意見・ご質問等は、学校または以下の連絡先をお願いします。

3. その他

ご家庭にWi-Fi環境がある場合は、できる限りご家庭のWi-Fiに接続していただきますようお願いいたします。

給食は通常通り実施していますが、登校せず家庭で授業を受けるため、給食を食べない場合は給食費を返還します。

（問合せ先）

枚方市教育委員会 学校教育室
教育研修担当 ICT推進グループ
電話番号：050-7105-8051

ICT 機器を活用した新たな学び～緊急対応版～

枚方市立小中学校は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、登校している児童・生徒も、密集を避けるため家庭での学習を希望する児童・生徒も、両者の「児童・生徒の安全を守ること」と、「子どもたちの学びを止めないこと」をめざします。登校せず家庭で授業を受ける場合においても、登校している児童・生徒と可能な限り同様の授業を受けられるよう、ICT 機器を最大限に活用した新たな学びに挑戦してまいります。

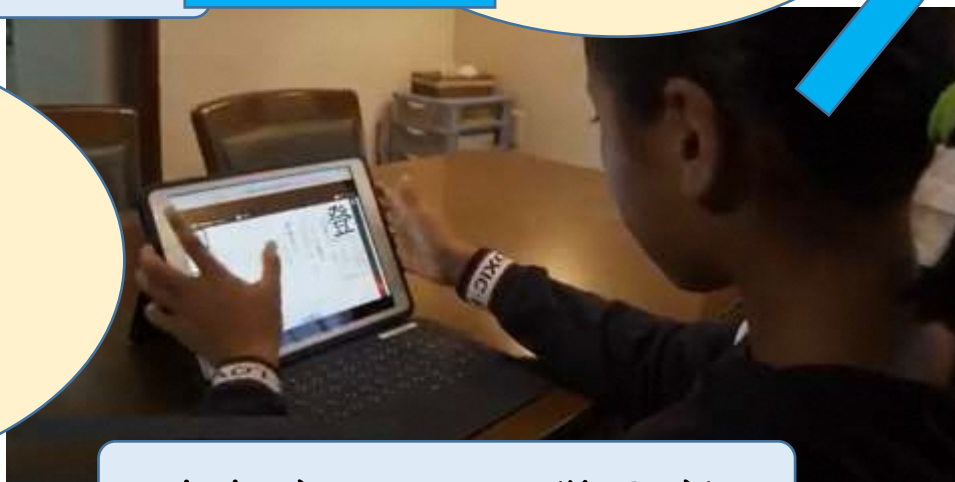
ハイブリッド型授業



密をさけた教室でも

同様の学びを
めざします！

ご家庭の状況に応じて
登校しての学習と
家庭でのオンライン授業
が選択できます



家庭でのオンライン学習でも

学校でも家庭でも 同様の学びをめざします！

【めあての提示】の場面では



先生は説明している様子を、タブレット端末を使い配信します。またタブレット端末から資料や動画の配信を行います。

学校では



教室にいる子どもは黒板やスクリーンを見ながら先生の話聞きます。

家庭では



家からオンラインで授業を受けている子どもは、iPadの画面から、黒板やスクリーンを見て、教師の話聞きます。

【じっくり考える】場面では



先生は、子どもたちに教科書を読んだり、タブレット端末から送付した資料や動画を見て、自分の意見や考えを書かせます。

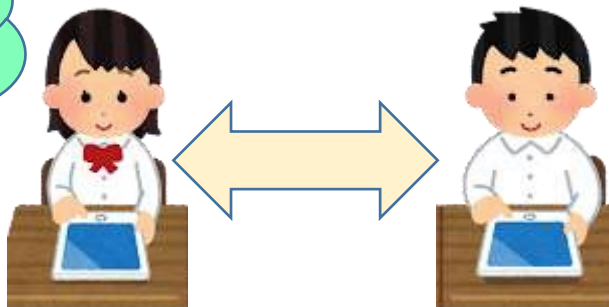


教室にいる子どもはノートやプリントに自分の意見を書きます。書いた意見は先生が確認します。



家からオンラインで授業を受けている子どもは、ノートに書いた自分の意見や考えを写真にとり先生に送ります。先生はiPadで確認します。

学習用アプリを使うことによって、iPad上で学校にいる友達も家にいる友達も互いの考えを共有することもできます



【交流し深める・学び合う】場面では



先生は子どもたちに自分の考えたことを発表してもらいます。



教室にいる子どもは指名されたら自分の意見の発表をします。配信用のタブレット端末があるので、家にいる子どももその発表を聞いて、自分の考えを深めることができます。



家からオンラインで授業を受けている子どもも、iPad を通して自分の意見を発表することもできます。教室にいる友達の意見も聞くことができます。

意見の発表は、iPad を使って小グループで行う場合もあります。



【振り返り】の場面では



先生は、デジタルドリルや授業支援ソフトなどを使い、問題を送信したり、振り返りをさせます



教室にいる子どもは iPad に送信された課題に取り組みます。わからないときは友達に聞いたり、手を上げて先生に質問ができます。



家からオンラインで授業を受けている子どもは、チャットで友達に聞いたり、iPad から先生に質問ができます。

iPad から問題を解くことで、授業中に解けなかった問題も後でじっくり考えて提出することができます。先生は放課後に職員室から子どもの回答を確認ができます。



iPad を使って送信した振り返りは蓄積が簡単で、自分の成長が振り返りやすくなります。